

令和 6 年度 事業報告



社会福祉法人白浜コスモス福祉会

も く じ

1， 令和 6 年度重点目標の総括

(1) 通所・入居状況	3
(2) 理事会・評議員会	3
(3) 他組織との連携・協働	4
(4) 職員研修	4～5
(5) 外部研修	5～6
(6) 虐待防止委員会	6
(7) 身体拘束適正化検討委員会	6～7
(8) 感染症対策委員会	7
(9) 個別支援計画策定会議	7

2， 各事業の総括

(1) 白浜コスモスの郷：生活介護事業	8
(2) 白浜コスモスの郷：就労継続支援事業B型	8
(3) 白浜コスモスの郷：指定特定相談支援事業	10
(4) コスモスホーム（共同生活援助事業）	10
(5) 白浜駅前コミュニティープラザ（地域活動支援センター事業）	11

3， 社会福祉法人の公益的な取組

・令和 6 年度「地域共生社会の実現に向けた取組の促進モデル事業」（和歌山県社会福祉協議会助成事業）

1, 令和6年度重点目標の総括

(1) 通所・入居状況 <令和7年3月末>

■白浜コスモスの郷

・就労継続支援事業B型	新規利用者1名	退所者5名	現在30名
・生活介護事業	新規利用者1名	退所者0名	現在10名
小計	2名	5名	現在40名

■グループホーム

第1コスモスホーム定員6名（入居者6名）	新規利用者1名	退所者1名	現在6名
第2コスモスホーム（アパート形式：4名）	新規利用者1名	退所者1名	現在4名
第3コスモスホーム定員6名（入居者6名）	新規利用者0名	退所者0名	現在6名
定員16名	2名	2名	16名

(2) 理事会・評議員会の開催

令和6年 6月13日	令和6年度第1回理事会	令和6年6月28日	令和6年度第1回評議員会
令和6年 9月11日	令和6年度第2回理事会	令和6年9月20日	令和6年度第2回評議員会
令和6年10月15日	令和6年度第3回理事会	令和7年3月31日	令和6年度第3回評議員会
令和6年11月19日	令和6年度第4回理事会		
令和6年12月19日	令和6年度第5回理事会		
令和7年 3月28日	令和6年度第6回理事会		

(3) 他組織との連携・協働

令和6年6月25日	第27回ごみと環境フェア実行委員会（白浜コスモス福祉会）主催第27回ごみと環境フェア 模擬店
令和6年 7月 2日	明誠高校和歌山白浜シップ交流会
令和6年 8月24日	とんフェス 模擬店
令和6年10月 8日	明誠高校和歌山白浜シップ交流会
令和6年10月27日	第6回みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル 模擬店
令和6年11月 2日～5日	第4回白良浜 de ひらひらTシャツアート展 模擬店
令和6年11月 2日	わあいわあい子どもまつりTシャツ出展 模擬店
令和6年11月 6日	ドリームデイ アット・ザ・ズー 模擬店
令和6年11月16日～17日	白浜コスモスの郷 絵画展（駅プラ）

(4) 職員研修

- 第1回 令和6年4月11日（木）17：00～18：15
（講師）相談支援事業所くるむ代表 花村篤司氏 （内容）「支援内容から虐待防止を考える」
- 第2回 令和6年4月25日（木）17：00～18：15
（講師）精神保健福祉士 栗田奈津氏 （内容）「利用者T氏と家族へのアプローチについて」
- 第3回 令和6年4月27日（土）13：30～15：30
（講師）和歌山県社会福祉士会 前邦朋氏 （内容）「人権研修・虐待防止について」
- 第4回 令和6年5月9日（木）17：20～17：40
（講師）理事長代行（施設長）橋本明彦 （内容）「令和6年度和歌山県障害者虐待防止・権利擁護研修プログラム＜人権擁護推進員・設置者及び管理者コース＞」
- 第5回 令和6年5月23日（木）17：00～17：15

- (講師) 施設長補佐 佐々木啓太 (内容) 「令和6年度集団指導」
- 第6回 令和6年5月23日(木) 17:15～17:45
(講師) 総務主任 沢口徹 (内容) 「災害時の事業継続計画書」「感染症発生時の事業継続計画書」
- 第7回 令和6年5月30日(木) 17:00～17:55
(講師) 橋本明彦施設長 (内容) 「虐待案件と私たちの課題」
コメンテーター 精神保健福祉士 栗田奈津氏
- 第8回 令和6年7月22日(月) 16:30～17:15
(講師) 長瀧幸子・松谷啓史・佐々木啓太 内容「ひきこもりの現場から～広域ひきこもり支援と居場所づくり～」・「質の高い仕事の進め方のノウハウを学ぶ～情報の共有化が徹底した職場がトラブルを回避する」・「障害者差別解消法について・同和問題について」
- 第9回 令和6年9月9日(月) 16:30～17:15
(講師) 松谷啓史 (内容) 「障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応の手引き」
- 第10回 令和6年9月19日(木) 17:05～18:00
(講師) 佐々木啓太 (内容) 「カスタマーハラスメント対策研修」
コメンテーター 精神保健福祉士 栗田奈津氏

(5) 外部研修

- 第1回 令和6年4月30日 (火) 田辺市 西牟婁圏域自立支援協議会 スキルアップ研修(1名)
- 第2回 令和6年5月15日 (水) 和歌山市 ファシリテーション研修 (1名)
- 第3回 令和6年6月6日 (木) 和歌山市 発達障がい児・者処遇研修(1名)
- 第4回 令和6年6月24日 (月) 田辺市 和歌山県サービス管理責任者等基礎研修 (2名)
- 第5回 令和6年6月27日 (木) 和歌山市 質の高い仕事の進め方のノウハウを学ぶ(1名)

第6回	令和6年8月8日	(木)	和歌山市	アンガーマネジメント研修 (1名)
第7回	令和6年8月16日	(木)	和歌山市	アサーティブコミュニケーション研修 (2名)
第8回	令和6年11月8日	(金)	和歌山市	令和6年度福祉サービス苦情解決研修会 (1名)
第9回	令和6年11月8日	(金)	和歌山市	わかやま相談支援専門員協会 定例研修会 (1名)
第10回	令和6年11月20日	(水)	和歌山市	コーチング+ (プラス) 研修 (1名)
第11回	令和6年11月25日	(月)	和歌山市	相談支援部会 第2回スキルアップ研修会 (2名)
第12回	令和6年12月5日	(木)	和歌山市	退職共済事務説明会 (2名)
第13回	令和7年 1月25日	(土)	田辺市	障害福祉サービスを利用される方の事業所における権利擁護について (2名)
第14回	令和7年 1月29日	(水)	田辺市	ソーシャルワークの明日を考える (1名)
第15回	令和7年 2月19日	(水)	田辺市	利用者支援について (1名)
第16回	令和7年 2月12日	(水)	田辺市	精神疾患・精神障害の基礎理解 (3名)
第17回	令和7年 2月19日	(水)	田辺市	管理者・虐待責任者コース講義 (3名)

(6) 虐待防止委員会 (令和4年度義務化)

- 第1回 令和6年4月18日 (木) 17:20～18:40
・虐待防止・身体拘束研修について
- 第2回 令和6年7月11日 (木) 17:15～18:25
・虐待事例検討

(7) 身体拘束適正化検討委員会 (令和4年度義務化)

- 第1回 令和6年4月18日 (木) 17:20～18:40

・身体拘束等の適正化のための指針について

第2回 令和6年7月11日（木） 17:15～18:25

（8）感染症対策委員会（令和6年度義務化）・感染症予防研修

第1回 令和6年5月16日（木） 16:50～17:40 ・感染症の状況について他 （スタンダードプリコーション研修）

第2回 令和6年7月16日（火） 17:25～17:50 ・従業員の健康診断について他 （感染症について研修）

第3回 令和6年7月30日（火） 17:45～17:55 ・コロナ感染対策について他

第4回 令和6年9月17日（木） 17:00～17:20 ・感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための指針について

（9）個別支援計画策定会議

*白浜コスモスの郷

Aグループ	令和6年5月～令和6年10月（7名分）	令和6年11月～令和7年4月（6名分）
Bグループ	令和6年6月～令和6年11月（7名分）	令和6年12月～令和7年4月（7名分）
Cグループ	令和6年7月～令和6年12月（8名分）	令和7年1月～令和6年6月（6名分）
Dグループ	令和6年8月～令和7年1月（8名分）	令和7年2月～令和7年7月（9名分）
Eグループ	令和6年9月～令和7年2月（6名分）	令和7年3月～令和7年8月（7名分）
Fグループ	令和6年10月～令和7年3月（6名分）	

*コスモスホーム

①令和6年4月～令和6年9月（13名）	②令和6年6月～令和6年11月（1名）
③令和6年7月～令和6年12月（1名）	④令和6年8月～令和7年1月（4名）

- ⑤令和6年9月～令和7年2月 (4名) ⑥令和6年10月～令和7年3月 (6名)
⑦令和6年12月～令和7年5月 (1名) ⑧令和7年2月～令和7年7月 (5名)
⑨令和7年3月～令和7年8月 (3名)

2. 各事業の総括

(1) 白浜コスモスの郷：生活介護事業

生活介護事業は、「利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、(中略)排泄又は食事の介護、創作活動又は、生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行う」(白浜コスモスの郷運営規程) こととしており、これに基づいて事業を以下に実施してきました。

令和6年度は、ちぎり絵、ぬり絵、小物作り等の創作活動に加えて、製袋作業の一部を取り入れました。また、歩行練習にて身体機能の維持や、嚥下機能を保つため口腔体操にも力を入れてきました。

レクリエーションでは、自然と他者との会話が増えるよう、脳トレ等で楽しみながら過ごしました。

生産活動としては、スポンジ作業や名刺の数を数える作業、ゴミ袋の袋入れ作業、箱のふた閉め作業等軽作業が中心で利用者の体調に配慮しながら行いました。

(2) 白浜コスモスの郷：就労継続支援事業B型

就労継続支援事業B型事業は、「利用者が自立した日常生活または、社会生活を営むことができるよう、(中略)就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行う」(白浜コスモスの郷運営規程) こととしており、これに基づいた箱折り班、製袋班、紙漉き班

で以下のように実施してきました。

<箱折り班>

箱折り作業がない時は、スポンジ作業や製袋作業の手伝いなど行いました。利用者個々には苦手な工程がありますが、練習を積み重ねることによって課題を克服し、生産量も上がり、自信に繋がっていきました。集中して作業することができました。

<製袋班>

大きなトラブルもなく、各商工会（白浜町：上富田町）にゴミ袋を切らすことなく納品ができました。

利用者には、製袋機の操作、袋入れ、原反交換、製品の箱詰め、納品などのどんな作業でもできるように取り組んできました。作業内容は、個別指導を基本にし、利用者にあった作業を提供し、支援を行ってきました。製袋機の定期的なメンテナンスを行うことによって、安定した生産数を出すことが出来ました。また、利用者が安全に作業ができるような環境に配慮してきました。

※上富田町のごみ袋製造が令和6年9月末日で終了となりました。

<紙漉き班>

福原ニードルからの仕事は、針を整える仕事とシール貼りの仕事をしています。受注状態で仕事のない日は、軽作業の箱折りやスポンジ作業を行っています。また、製袋作業の一部を担っています。

※紙漉き作業は、材料の高騰により生産しても収入に繋がらないので終了となりました。

（3）白浜コスモスの郷：指定特定相談支援事業

<利用対象者>

白浜コスモスの郷利用者が、白浜コスモスの郷相談支援事業所を利用している→16名

白浜コスモスの郷利用者が、他の相談支援事業所を利用している→23名

※他事業所 1, 紀南障害者地域生活支援センター（田辺市）・・・3名
2, ふらっと（田辺市）・・・・・・・・・・9名
3, リーふ（田辺市）・・・・・・・・・・4名
4, くるむ（上富田町）・・・・・・・・・・1名
5, 森音（白浜町）・・・・・・・・・・2名
6, ユアセルフ（田辺市）・・・・・・・・・・2名
7, ピースフル（上富田町）・・・・・・・・・・1名
8, つむぐ（田辺市）・・・・・・・・・・2名
9, りんくる（上富田町）・・・・・・・・・・1名

上記以外の利用者が、白浜コスモスの郷相談支援事業所を利用している→2名

（4）コスモスホーム：共同生活援助事業

共同生活援助事業は、「利用者が自立をめざし、地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ又は食事等の介護、相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行う」（コスモスホーム運営規程）こととしており、これに基づいた事業を行ってきました。

＜入居状況＞（令和7年3月末）

第1 コスモスホーム（女性棟：6名定員） → 6名
第2 コスモスホーム（アパート型：4名定員） → 4名
第3 コスモスホーム（男性棟：6名定員） → 6名

合計 16 名

グループホーム事業は、平成 14 年から始めましたが、現在過去最多の 16 名が生活しています。

地元堅田区の町内会行事（避難訓練や交流会）などにも参加し、地域の方々との交流も積極的に進めています。

また、各ホームに月 1 回ミーティングを開催し、利用者の要望等を聞き、出来る限り実現できる支援を行っていくようにしています。

（５）白浜駅前コミュニティープラザ（白浜町地域活動支援センター事業）

障害がある人を中心に個別相談・創作活動・生産活動・社会との交流促進などの機会を提供しています。利用される方は、中々外出する機会が少なく、また福祉サービスを受けていない方もおり、そういった方の居場所の機能を果たしています。ここ近年、地域の方々の支援もいただきイベントや創作活動も一緒に取り組みを進めています。

白浜駅前コミュニティープラザ（以下、駅プラ）は、「1 日当たりの実利用人員が、おおむね 10 人以上」（白浜町地域活動支援センター事業実施要綱第 1 条）となっています。

令和 4 年度 1 日平均利用者数 13.7 人

令和 5 年度 1 日平均利用者数 14.3 人

令和 6 年度 1 日平均利用者数 14.4 人

駅プラ開設の背景には、「障害者も高齢者も子供たちも遊びに寄って頂き、地域の課題を共に語り合い、より良き社会づくりに少しでも前向きな形で取り組める」ことを願う関係者の声がありました。今や駅プラは、地域の方々の「安らぎの場・居場所の一つになり、緩やかに繋がる環境作りや気軽な気持ちで様々なことを相談したり、ふと思い立った時に立ち寄れる」存在として地域に根ざしています。

今後も地域と連携した地域活動支援センターとして運営してまいります。

令和6年度白浜駅前コミュニティープラザの実績

〈上半期4月～9月〉

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小 計
開設日数	21日	21日	20日	22日	16日	19日	119日
実利用者数	45人	40人	35人	36人	31人	38人	225人
利用回数	308回	347回	284回	323回	219回	297回	1,778回
平均人数	14.7人	16.5人	14.2人	14.7人	13.7人	15.6人	14.9人
最小数	2人	3人	2人	7人	4人	6人	2人
最多数	23人	23人	20人	19人	18人	21人	23人
新規登録者数	1人	1人	2人	1人	0人	0人	5人
地域交流	102人	64人	63人	98人	72人	84人	483人

〈下半期10月～翌3月〉

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小 計	合 計
開設日数	22日	20日	20日	19日	18日	20日	119日	238日
実利用者数	38人	36人	34人	33人	31人	37人	209人	434人
利用回数	342回	269回	283回	271回	225回	301回	1,691回	3,469回
平均人数	15.5人	13.5人	14.2人	14.3人	12.5人	15.1人	14.2人	14.4人
最小数	11人	3人	4人	4人	9人	11人	2人	2人
最多数	21人	21人	21人	20人	17人	19人	23人	23人
新規登録者数	1人	1人	1人	1人	1人	0人	5人	10人
地域交流	97人	86人	71人	44人	83人	75人	456人	939人

※地域交流は、地域の方々が駅プラ利用された数です。

令和6年度「地域共生社会の実現に向けた取組の促進モデル事業」
(和歌山県社会福祉協議会助成事業)

社会福祉法人白浜コスモス福祉会

令和7年4月

もくじ

令和6年度「地域共生社会の実現に向けた取組の促進事業」

- 1 第10回みんなのふれあい広場のまとめ：令和6年4月13日
- 2 第11回みんなのふれあい広場のまとめ：令和6年5月18日
- 3 第12回みんなのふれあい広場のまとめ：令和6年6月22日
- 4 第13回みんなのふれあい広場のまとめ：令和6年7月20日
- 5 第14回みんなのふれあい広場のまとめ：令和6年8月17日
- 6 第15回みんなのふれあい広場のまとめ：令和6年9月21日
- 7 第16回みんなのふれあい広場のまとめ：令和6年10月27日
- 8 第17回みんなのふれあい広場のまとめ：令和6年11月16日
- 9 第18回みんなのふれあい広場のまとめ：令和6年12月14日
- 10 第19回みんなのふれあい広場のまとめ：令和6年12月21日
- 11 第20回みんなのふれあい広場のまとめ：令和7年1月25日
- 12 第21回みんなのふれあい広場のまとめ：令和7年2月20日
- 13 第22回みんなのふれあい広場のまとめ：令和7年3月22日

令和 6 年度「地域共生社会の実現に向けた取組の促進事業」

和歌山県社会福祉協議会「制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト」推進委員会

1 目的

地域共生社会の実現に向けて、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な福祉サービス提供体制の整備を目的とした改正社会福祉法が令和 3 年 4 月に一部施行されました。

このことに伴い、社会福祉法人・福祉施設には、社会福祉法人制度改革で求められてきた「地域における公益的な取組」の推進を図るなかで、より一層、地域の様々な生活課題に積極的に対応し、地域共生社会の一翼を担うことが期待されています。

また、新型コロナウイルス感染症により、約 3 年間、ソーシャルディスタンスや各種活動の自粛が求められた結果、「つながりの希薄化」や「社会的孤立」が進行したと言われ、「with コロナ」、「after コロナ」の取組を具体化していく必要があります。

本モデル事業は、社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会が推進する「制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト」の一翼を担うものとして、社会福祉法人による地域における公益的な取組を促進するとともに、各地域における社会福祉法人及び関係機関のネットワークづくりを支援し、今日的な福祉課題・生活課題に対応する新たな取組の創出と県内への普及促進を図ることを目的に実施されるものです。

2 実施主体（モデル事業助成対象）

和歌山県内の社会福祉法人（施設経営法人）を対象とする。

3 対象となる活動・事業

（1）個々の社会福祉法人（施設経営法人）が取り組む地域における公益的な取組

社会福祉法人（施設経営法人）が把握する今日的な地域の福祉課題・生活課題に対し、地域の関係機関と課題を共有し、協働により進める多様な地域福祉活動を対象とする。

<活動例>

- ① 生活困窮者（経済的困窮者・社会的孤立者等）の支援に関する取組
- ② 中間的就労の推進に関する取組
- ③ 子どもの貧困防止、居場所づくりに関する取組
- ④ 高齢者・障がい者等の社会的孤立防止、居場所づくりに関する取組
- ⑤ 災害時に備えた福祉支援体制づくりや関係機関とのネットワーク構築に向けた取組
- ⑥ 地域住民に対する在宅での介護技術研修やボランティアの育成
- ⑦ 社会的孤立の防止等、コロナ禍による地域生活課題解決に向けた取組
- ⑧ その他、地域の生活課題に対する新しいサービスの開発等

4 申請にあたっての留意点

（１）「社会福祉法人による『地域における公益的な取組』の推進について（平成３０年１月２３日付け社援基発０１２３第１号/厚生労働省社会・援護局福祉基盤課長通知）」に該当する取組であること。

5 助成金額

（１）１法人あたり３００千円以内

6 助成対象となるモデル事業の実施期間

令和６年４月１日～令和７年３月３１日までに実施された事業

○今年度で和歌山県社会福祉協議会による地域共生社会の実現に向けた取り組みの促進事業は終了しました。

令和6年度第10回みんなのふれあい広場のまとめ

<日時>

と き・・・令和6年4月13日（土） 13:00～14:30

ところ・・・白浜駅前コミュニティープラザ

内 容・・・ミニコンサートと茶話会

<参加者>

みんなのふれあい広場	34名
内訳・いきいきサロン（高齢者団体）	13名
・地域活動支援センター利用者	5名
・コスモスホーム利用者	5名
・白浜コスモスの郷利用者	2名
・子ども	2名
・地域住民	7名
法人職員	6名



<まとめ>

今年度の「みんなのふれあい広場」は、まつやまさひこさんたちのグループのミニコンサートから始まりました。いつもよりいきいきサロンの参加者は少なかったですが、マーメイドタウン（移住者）の参加は段々と馴染んできているという印象を受けています。積極的な交流会への参加は、今後のみんなのふれあい広場にとっても新しい取り組みのきっかけになるのではないかと思います。茶話会では次回の内容について、参加者から意見をいただき、脳トレをすることになりましたが、年間を通して参加者の希望を聞きながら進めていくことや、参加者が主体の発表会なども取り入れていくことも必要だと感じました。

令和6年4月24日

令和6年度第11回みんなのふれあい広場のまとめ

<日時>

と き・・・令和6年5月18日（土）13:00～14:30

ところ・・・白浜駅前コミュニティープラザ

内 容・・・脳トレと茶話会

<参加者>

みんなのふれあい広場・・・・・・・・・・45名

内訳・いきいきサロン（高齢者団体）18名

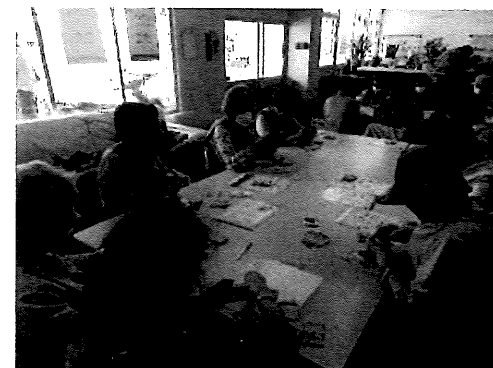
・地域活動支援センター利用者 4名

・コスモスホーム利用者 4名

・子ども 11名

・地域住民 8名

法人職員・・・・・・・・・・・・・・5名



<まとめ>

堅田いきいきサロン会長の石田武夫さんによる脳トレを行いました。加齢に伴う機能低下は避けることはできませんが、簡単なことを何度も繰り返し行うことは脳を活性化させます。これは高齢者だけに求められているのではないことが分かります。子どもも障害者も一緒になって訓練することが大切であり、交流活動がさらに深まっていくことに繋がります。みんなのふれあい広場での交流活動は定着してきましたが、決して特別な取り組みをしているわけではありません。何気ないおしゃべりやレクリエーションを通じて交流は継続され、地域コミュニティーが作られるのだらうと思います。

令和6年5月20日

令和6年度第12回みんなのふれあい広場のまとめ

<日時>

と き・・・令和6年6月22日（土）10：30～16：00

ところ・・・白浜駅前コミュニティープラザ

内 容・・・防災学習会と茶話会

<参加者>

みんなのふれあい広場・・・・・・・・・・49名

内訳・いきいきサロン（高齢者団体）19名

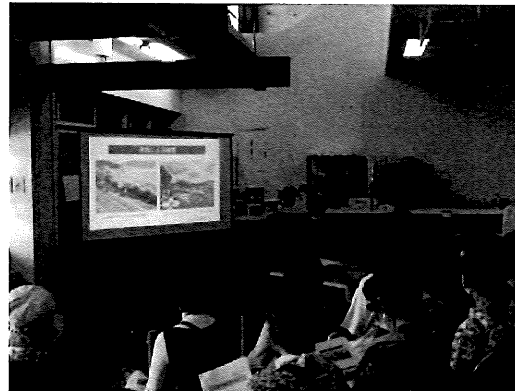
・地域活動支援センター利用者 6名

・コスモスホーム利用者 3名

・子ども 13名

・地域住民 8名

法人職員・・・・・・・・・・4名



<まとめ>

第1部「みんなのふれあい広場」（いきいきサロン共催）は、「地震・津波災害に備えて」と題して防災講習会を行いました。白浜町地域防災課職員により「和歌山県で起こりうる地震（南海トラフ）」を説明していただきました。最大震度7、津波8mから19mが起こったら死者数（白浜町）5,300人、負傷者数1,390人、建物全壊棟6,400棟などが予想されると報告。また、元旦に起こった能登半島地震の白浜町派遣職員撮影による現地の様子がスクリーンに映り出されました。地震に対する心構えとして、家族で事前に避難場所等について話し合うことや、非常持出品の一例、災害トイレ、地震対策、白浜町の施策などについての説明を行っていただきました。

第2部は、昼食会を行いました。みんなでワイワイガヤガヤしながらおしゃべりをしながら食事を楽しむ、これも居場所づくりに欠かせない取り組みの一つです。年に何度かそんな企画も必要だと痛感しました。

第3部は、ラ・パーチェと駄菓子屋。学校や学童、保育所などに駄菓子屋オープンのチラシを配布し、当日は町内の放課後等デイサービスの子どもたちも利用してくれました。また、校区の小学生は、「ここで宿題をしてもいい」と支援員に尋ねてきたと言います。徐々に駄菓子屋と居場所の認知が進んでいるように感じます。

来月には、白浜おはなしの会のメンバーによる楽しいお話が始まります。

令和6年6月25日



令和6年度第13回みんなのふれあい広場のまとめ

<日時>

と き・・・令和6年7月20日（土）9：30～16：00

ところ・・・白浜駅前コミュニティープラザ

内 容・・・健康体操と茶話会

<参加者>

みんなのふれあい広場・・・・・・・・・・42名

内訳 ・いきいきサロン（高齢者団体）18名

・地域活動支援センター利用者 5名

・グループホーム利用者 5名

・白浜コスモスの郷利用者 2名

・子ども 6名

・地域住民 6名

法人職員・・・・・・・・・・・・・・・・5名



<まとめ>

第1部「みんなのふれあい広場」（いきいきサロン共催 9：30～10：30）は、健康体操（町塚敦夫さん）を行いました。町塚さんの健康体操は、今回で3回目（3年）となり、日頃の運動不足の解消と体操を通じてコミュニケーションを図ることができました。笑いのある健康体操は、参加者の皆さんの楽しみの企画の一つになっています。

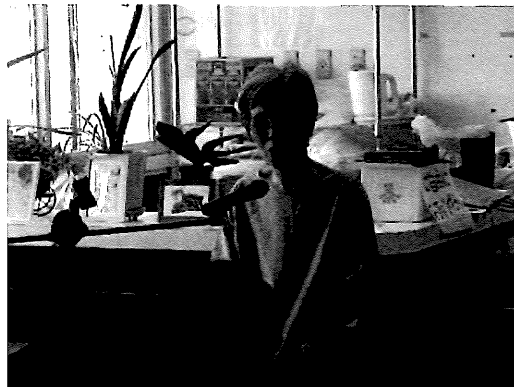
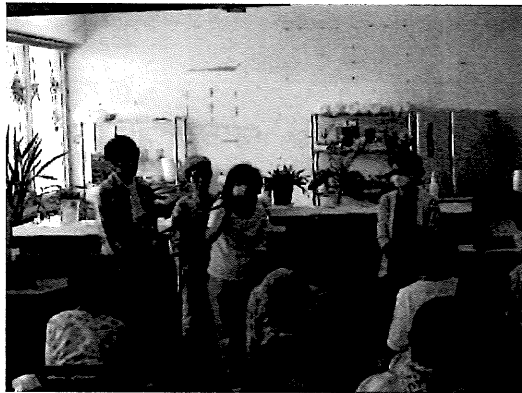
第2部は、白浜おはなしの会（10：30～11：00）の3人から絵本の読み聞かせやお話の語りをしていただきました。初めての企画でした。放課後等デイサービスの子どもたちも参加してくれました。絵本の読み聞かせやお話の語りは、その話の中に引き込まれる内容でした。次回のみんなのふれあい広場では、参加者による絵本の読み聞かせを行うことにな

っています。

第3部は、ラ・パーチェと駄菓子屋（11：00～16：00）。ゆったりとした時間を過ごしていただく空間ですが、駄菓子屋は子どもたちに支持を広がっているように思えます。

これまでのみんなのふれあい広場は、全般的に参加者にとっては受け身的な内容が多かったですが、次回は参加者が主体になり、いくつかのグループが絵本の読み聞かせを行うことになっています。参加者が主体になる企画も今後考えていく必要があります。

令和6年8月5日



令和6年度第14回みんなのふれあい広場のまとめ

<日時>

と き・・・令和6年8月17日（土）9：30～16：00

ところ・・・白浜駅前コミュニティープラザ

<第1部>参加者による絵本の読み聞かせ 9：30～10：30

<第2部>白浜おはなしの会 10：30～11：00

<第3部>ラ・パーチェ 11：00～16：00

<参加者>

みんなのふれあい広場・・・・・・・・・・27名

内訳 ・いきいきサロン（高齢者団体）14名

・地域活動支援センター利用者 7名

・コスモスホーム利用者 6名

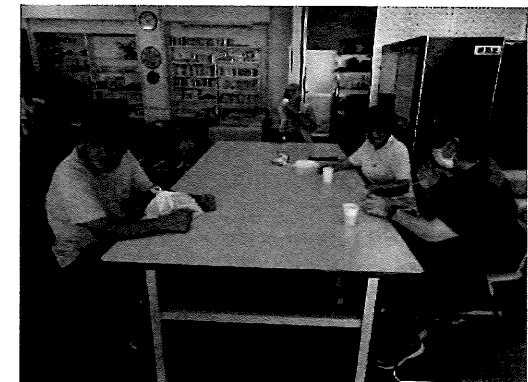
法人職員・・・・・・・・・・4名



第1部
参加者の読み聞かせ



第2部 白浜おはなしの会



第3部 ラ・パーチェ

<まとめ>

第1部では、参加者による絵本の読み聞かせを行いました。参加者が主体になって行うことは今回初めての取り組みでした。7月の白浜おはなしの会を受けて、数人のグループに分けて、読み聞かせを行ってくれました。何度か練習もされたのだと思いますが、その成果が表れた発表会となりました。みんなのふれあい広場の参加者が、主役になって会をリードしていく、そんな取り組みも必要であると思いました。

令和6年8月5日

令和6年度第15回みんなのふれあい広場のまとめ

<日時>

と き・・・令和6年9月21日（土）9：30～16：00

ところ・・・白浜駅前コミュニティープラザ

内 容・・・お口の健口学習～みんなで健康寿命を～

講師：歯科衛生士 荒井洋子さん

資料：「歯あわせ Life～おいしく 楽しく 健康に～」

<参加者>

みんなのふれあい広場・・・・・・・・・・27名

内訳・いきいきサロン（高齢者団体）14名

・地域活動支援センター利用者 7名

・コスモスホーム利用者 6名

法人職員・・・・・・・・・・・・・・・・4名

<まとめ>

口腔機能がいかに大切かを身にしみた学習会でした。高齢者だけではなく、健康を維持していく上でも口腔機能を保つトレーニングやレクリエーションを意識的にしていきたいと思いました。荒井さんの話が終わってから参加者から熱心な質問などが出されたことは、日頃から口腔に関する関心や悩みなどを抱えている裏返しではないでしょうか。

令和6年8月5日



令和6年度第16回みんなのふれあい広場のまとめ

<日時>

と き・・・令和6年10月27日（日）10:00～13:00

ところ・・・白浜会館

内 容・・・第6回みんな集まれ！しら・はぐフェスティバルへ参加

主催：白浜町社会福祉協議会他



<参加者>

みんなのふれあい広場・・・・・・・・・・18名

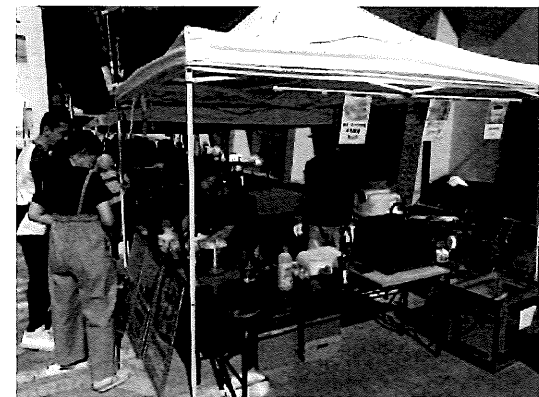
内訳・いきいきサロン（高齢者団体）5名

・地域活動支援センター利用者 5名

・コスモスホーム利用者 6名

・白浜コスモスの郷利用者 2名

法人職員・・・・・・・・・・・・・・3名



<まとめ>

昨年に続き10月のみんなのふれあい広場は、第6回みんな集まれ！しら・はぐフェスティバルへ参加し、楽しく過ごすことにしました。いつもの参加者（高齢者）がボランティアとして、しら・はぐフェスティバルに関わっておられる方もいて高齢者の参加者は少なかったですが、日曜日ということもあり、障害者の参加者がいつもより多かったです。

このようなイベントに参加することは、様々な方々と交流を深めることになり、社会と繋がり、孤立・孤独対策上、大切な取り組みの一つだと思います。障害者、高齢者だけに留まらず、地域の方々の繋がりが、このイベントの意義だと感じました。

令和6年11月5日

令和6年度第17回みんなのふれあい広場のまとめ

<日時>

と き・・・令和6年11月16日（土）10：30～12：00

ところ・・・白浜駅前コミュニティプラザ

内 容・・・DVD鑑賞（昔話）

<参加者>

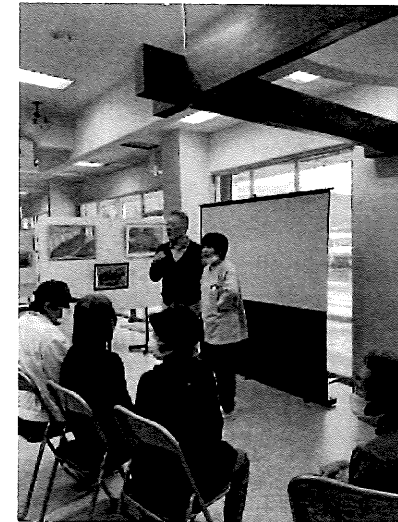
みんなのふれあい広場・・・・・・・・・・31名

内訳・いきいきサロン（高齢者団体）18名

・地域活動支援センター利用者 4名

・白浜コスモスの郷利用者 9名

法人職員・・・・・・・・・・3名



<まとめ>

第4回白浜コスモスの郷絵画展開会前にみんなのふれあい広場参加者に鑑賞していただきました。作者3名の紹介もさせていただくこととなり、障害者の文化・芸術の振興を進めていく上でいい機会になりました。より多くの方々に鑑賞していただき、話題にさせていただくことが障害者への理解が深まることと思います。

さて、第17回みんなのふれあい広場はDVD鑑賞でした。昔話6本でしたが、笑い声が絶えない鑑賞会になりました。今回、地元の秋祭りと重なりましたが、地域行事にも配慮した計画が必要だと感じました。

令和6年11月18日

令和6年度第18回みんなのふれあい広場のまとめ

<日時>

と き・・・令和6年12月14日（土）13：30～15：00

ところ・・・白浜駅前コミュニティプラザ

内 容・・・クリスマス会

<参加者>

みんなのふれあい広場・・・・・・・・・・34名

内訳・いきいきサロン（高齢者団体）21名

・地域活動支援センター利用者 8名

・コスモスホーム利用者 5名

法人職員・・・・・・・・・・3名



<まとめ>

12月のみんなのふれあい広場は、クリスマス会として参加者一同でクリスマスソングや正月の歌謡を歌うことにしました。石田さんの音頭でみんな楽しく歌うことができましたが、女性のパワフルな姿勢には脱帽です。サロンや交流会でも女性がリードしていますし、男性の参加が課題です。地域との関わりがないわけではないと思いますが、コミュニケーション不足を感じます。今後も課題です。どこの地域でもそうだと思いますが。

令和6年12月16日

令和6年度第19回みんなのふれあい広場特別編のまとめ

<日時>

と き・・・令和6年12月21日（土） 11:00～14:00

ところ・・・白浜駅前コミュニティプラザ

内 容・・・お疲れ様会

<参加者>

みんなのふれあい広場・・・・・・・・・・ 14名

内訳・いきいきサロン（高齢者団体） 4名

・地域活動支援センター利用者 10名

法人職員・・・・・・・・・・ 3名



<まとめ>

12月21日は、みんなのふれあい広場特別編でした。地域活動支援センターの利用者といきいきサロンの役員とのお疲れ様会の食事会とカラオケ大会で今年の取り組みを締めました。地域活動支援センター利用者の今年の特徴は、白浜コスモスの郷以外の利用者が多くなり、みんなのふれあい広場へも参加するようになったことです。少人数ではありますが、地域や社会との接点の居場所としてみんなのふれあい広場が受け皿になっていると思います。これまでの取り組みから交流会を積み重ねることによって、共生社会の基礎が作られてきていると言えます。地道な取り組みを積み重ねることが大切だと思います。

令和6年12月23日

令和6年度第20回みんなのふれあい広場のまとめ

と き・・・令和7年1月25日（土）13:00～15:00

ところ・・・白浜駅前コミュニティプラザ

内 容・・・ミニコンサート

①「こめっと with Jin&かえ」 演歌・昭和歌謡の高校生デュオ

演歌・昭和歌謡をギターとベース伴奏で歌う高校生デュオ。

サポート奏者：「Jin&かえ」。洋楽弾き語りをメインのアーティストです。

②「ひとみ」 洋楽・フォーク等のギター弾き語り 洋楽・フォーク等のギター弾き語りをする女性シンガー。

③「小芝陽子 with Jin&かえ」

両親の影響で9歳から詩吟を始め、平成13年、14年共に文部科学大臣奨励賞ならびに三冠吟士を受賞。「夢白夜」「熊野川艶歌」「ねんねこ祭り」「白虎隊詩吟入り」「弁天島」等、地域の歴史文化に根ざす曲をリリース。詩吟をルーツとする歌声は唯一無二、地元の人々に元気を届ける歌姫です。

<参加者>

みんなのふれあい広場・・・・・・・・・・30名

内訳・いきいきサロン（高齢者団体） 17名

・地域活動支援センター利用者 6名

・コスモスホーム利用者 5名

・その他 2名

法人職員・・・・・・・・・・2名



<まとめ>

第20回みんなのふれあい広場は、串本町から3グループが出演していただいたミニコンサートでした。高校生デュオのこめっとの1人は、この春白浜町のホテルに就職。いろんなつながりを大切にしたいと思います。女性シンガーのひとみさんは、懐かしい昭和のフォークソングを静かに歌い、青春時代を思い出した参加者の顔が印象的でした。演歌歌手の小芝さんは、さすがプロ。着物姿で登場すると会場の雰囲気は一変し、小芝さんのステージにみんなが引き込まれていきました。

みんなのふれあい広場も20回を数えましたが、参加人数の増減はあるもののこの事業を通じて感じることは、やはり居場所が大切であることです。すべての人が気軽に立ち寄れる居場所が地域コミュニティを形成していく核となるのだらうと思います。子ども食堂の取り組みなんかは、その一例で学ぶべきことが一杯あるし、今後の参考事例となっていくと思われます。

令和7年1月28日



こめっと with Jin&かえ



ひとみ



小芝陽子 with Jin&かえ

令和6年度第21回みんなのふれあい広場のまとめ

と き・・・令和7年2月20日（木） 13：30～15：00

ところ・・・白浜駅前コミュニティプラザ

内 容・・・やさしい手話の基本と茶話会

<参加者>

みんなのふれあい広場・・・・・・・・・・ 13名

内訳・いきいきサロン（高齢者団体） 10名

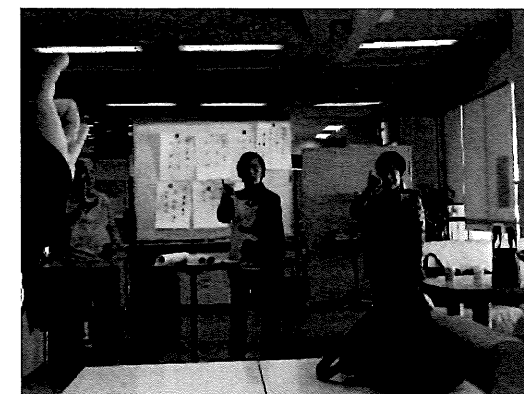
・地域活動支援センター利用者 3名

法人職員・・・・・・・・・・・・・・ 1名

<まとめ>

日程等の関係で木曜日の開催となりました。参加者は少人数でしたが、長年手話ボランティアを行っている参加者の1人が講師役になり、やさしい手話の講習会となりました。少人数だったこともあり、丁寧な手話の基本を学べたと思います。参加者が主役になり、参加者と共に作りあげていく行事は大切な取り組みです。このみんなのふれあい広場では、数える程度しかやっていませんが、居場所づくりをしていく上でも参加者と共に創る行事がキーワードになってくるでしょう。

令和7年2月21日



令和6年度第22回みんなのふれあい広場のまとめ

と き・・・令和7年3月22日（土）10:00～12:00

ところ・・・白浜駅前コミュニティプラザ

内 容・・・第1部 ミニコンサート

第2部 ビンゴ大会

第3部 食事会

<参加者>

みんなのふれあい広場・・・・・・・・・・50名

内訳・いきいきサロン（高齢者団体） 23名

・地域活動支援センター利用者 8名

・白浜コスモスの郷利用者 11名

・地域住民 8名

法人職員・・・・・・・・・・4名



<まとめ>

2年間に渡る「地域共生社会の実現に向けた取組の促進モデル事業」の最終回は、3部構成の楽しいイベントで締めくくことにしました。第1部のミニコンサートは、以前演奏していただいたスプリングノーツの2人と白浜コスモスの郷の保護者（親子）と知人のズンパとカナツンの3人。2グループ共、春の訪れを告げるような演奏に参加者は魅了されていました。また、2グループの音響を担当してくれたのは、地元白浜のFMビーチステーション。音響のプロが入ると演奏は一段と光り輝き、イベントが盛り上がっていくのを実感します。そんなこともこの促進モデル事業で得たことです。参加者だけ

でなく、このモデル事業を支えてくれた方々の力も大きかったと思います。

第2部はビンゴ大会。やはり盛り上がります。この2年間の取り組みを通じて、どなたも居場所を求め、交流することが大事だと感じました。もっと多くの地域住民の方々にこの取り組みを拡大していきたいと願いつつ、複数の法人が共同でモデル事業を展開していくことも地域の特性に応じて柔軟に対応していくべきではないかと感じました。

第3部は食事会。感染対策から弁当を持ち帰ることにしましたが、皆さん笑顔で帰られたことが印象に残りました。

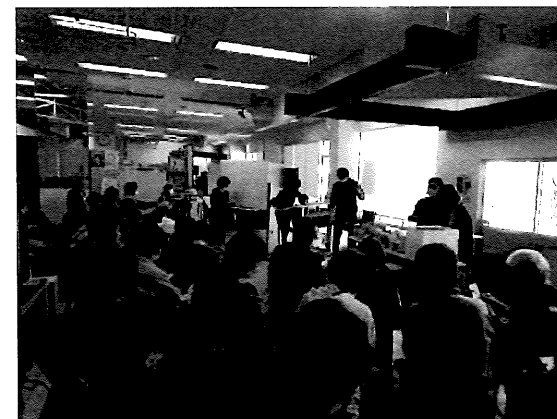
この2年間、多くの方々に参加していただいたことに感謝申し上げ、促進モデル事業を終えていきます。有難うございました。

令和7年3月24日



■スプリングノーツ

■ズンパとカナツン



■ビンゴ大会

令和6年度 緩やかな居場所づくりプロジェクト実績

参加者	障害者	地 域	合 計
合 計	149人	263人	414人
平 均	11.4人	20.2人	31.8人

みんなのふれあい広場は令和6年度13回開催

障害者(白浜コスモスの郷・グループホーム・地域活動支援センター利用者)

地域(子ども・高齢者・一般)